

# おうちでも山本二三展を学ぼう！

アニメーションの作画において、キャラクター以外の背景部分を背景画といいます。

山本二三さんは、背景画を描き続けて50年ちかく！

下のイラストを使って、具体的に背景画について勉強してみましょう。

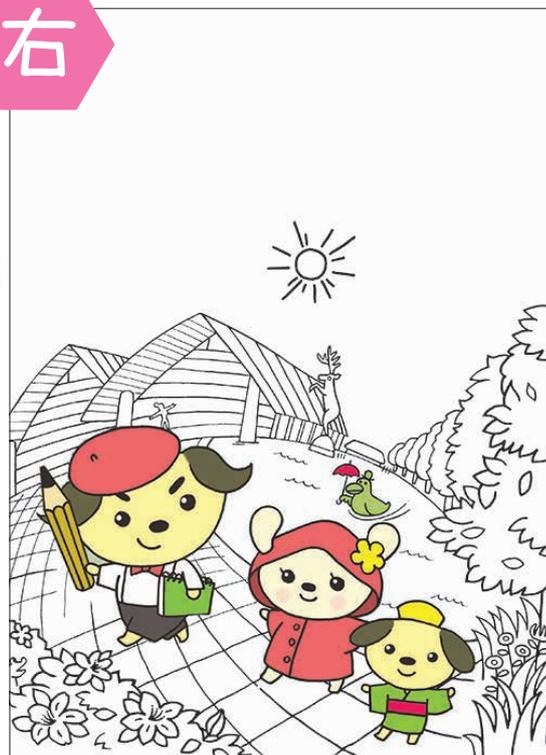
左

## びじゅつかん こどもガイド



右

ぼくたちのなまえは、  
左から、たびた、  
もも、ちゃちゃ丸と  
いうんだよ！



左の絵は、佐川美術館教育普及キャラクター「さがわん3きょうだい」が美術館を歩いている絵です。読む人がわかりやすいように文字が書いてありますが、

実際アニメーションでは、声優さんが文字を声でふきこんでいます。

右の絵を見てください。「さがわん3きょうだい」たちは色がぬられています、

あとの部分は真っ白ですね。この白い部分が背景画の部分です。

今回はわかりやすいように建物などが線で描いてありますが、実際の背景画は一から

描きます。背景に何を描くか、どんな色をぬるのかによって、キャラクターがいる場所や

時間が変わります。「アニメーションをつくる」ということにおいて、背景があるかないかで、

そのアニメーションの世界に深みが出るかどうか変わってくるのです。

それでは、上の絵を使って、背景に色をぬってみましょう。色の使い方も考えてみましょう。

(別紙1と別紙2をダウンロードください。)

それができたら、自分で背景画を描くことにチャレンジしてみましょう。(別紙3)

みなさん思い思いの背景画は描けましたか？

つぎは、山本二三さんの描く「雲」について見てみましょう。

二三さんの背景画には、雲がたくさん描かれています。

二三さんは雲を描くのが得意です。



天空の城ラピュタ《荒廃したラピュタ》1986年 (C)1986 Studio Ghibli



《卯月の琵琶湖》2020年 (C)山本二三



時をかける少女《踏切》2006年 (C)「時をかける少女」製作委員会 2006

雲は季節や天候によって、さまざまな形に姿を変えます。



春に多いひつじ雲（高積雲）



夏の入道雲（積乱雲）



秋に多いすじ雲（巻積雲）



雨雲や雪雲（乱層雲）

今日見えている雲はどんな雲でしょうか？ おうちで毎日雲を観察してみましょう。



がつ にち



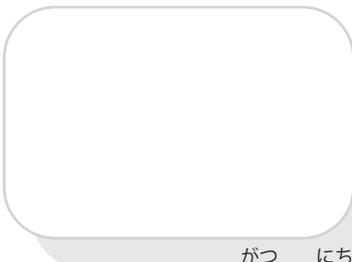
がつ にち



がつ にち



がつ にち



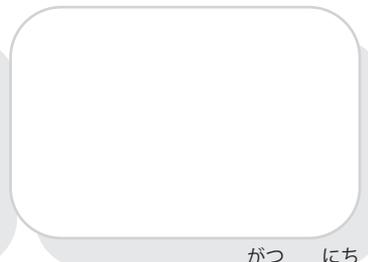
がつ にち



がつ にち



がつ にち



がつ にち

どんな雲を見ることができましたか？ 雲の種類を本やインターネットで調べてみましょう。



二三さんは普段から観察やいろいろな経験、研究を欠かさないといいます。

みなさんも何か一つ、これをやろう！ ということを決めて、おうちで取り組んでみましょう。

きっとその一つ一つがみなさんをゆたかにしてくれるはずです。

おうちばかりで退屈かもしれませんが、その中でできることにチャレンジしてみましょう！